

大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	76	大学等名	松本大学松商短期大学部
テーマ	テーマV 卒業時における質保証の取組の強化		

【総括評価】

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

【コメント】

<優れている点>

- ・本取組は、短期大学教育で修得すべき知識や技能を明確化しつつ教育改革を進めるものである。教育改革の総合的な取組計画としては、「入口（入試）改革」、「中身（教育）改革」「出口（卒業・進路）改革」、「環境整備」を柱として、卒業時における質保証の取組の強化が図られており、特に「中身（教育）改革」においては、コンピテンスの育成、成績評価の公表、学修ポートフォリオ、ルーブリック、4学期制移行など、多様な改革が進められていることは評価できる。
- ・事業の実施体制については、平成28年度に「AP実施委員会」と「指標作成委員会」を設置し、事業推進の基盤整備を行うとともに、「外部評価委員会」を設置するなど、学長を中心とした体制が組織的に整備されており、FD・SDの実施体制の整備や、学内への周知徹底もなされている。また、取組の自己評価が適切に実施できる体制整備もなされており、客観的なエビデンスに基づいたPDCAサイクルが機能するように実施体制が整備されていることは評価できる。
- ・フォーラム等の開催と学会報告等を中心に、本事業の取組による成果を波及させるための計画は当初の予定通り進められている。また、補助期間終了後も継続的かつ発展的な事業実施が期待でき、評価できる。

<改善を要する点>

- ・必須指標及び独自の事業目標については概ね目標を達成できているが、一部には計画をわずかに下回る取組があることから、目標と実績のギャップを分析・検討し、目標達成に向けた努力が必要である。